

〔大城 勝議員 登壇〕

○3番 大城 勝君 今回で私の一般質問が16回目を終わることになりますのでよろしくお願ひします。これから4つの大きな質問をいたします。1つ、ちむぐくる館の健康運動器具の整備状況を問う。（1）平成29年の第4回定例会で、ちむぐくる館の健康増進室の整備状況について一般質問したが、答弁は運動器具が快適に使用できるよう対応する、だった。その後の対応状況を問う。（2）運動器具のベルトトレーナーのベルト部分が消耗し半分幅まですり切れている状態である。そのままでの器具使用は危険である。早めのベルトの交換ができないか。（3）健康器具の電位治療器のリクライニングチェアの背もたれ部分が壊れているが、早目の修理ができないか。

2つ目の質問に行きます。黄金森公園内の遊歩道の整備状況は。（1）黄金森公園整備事業の木橋部分を含む遊歩道工事の進捗状況について問う。町民への供用開始はいつか。

（2）遊歩道が完成すると、その歩道に自転車やバイクの乗り入れも考えられる。その対処をどのようにしていくのか。（3）黄金森を一周する遊歩道の完成を記念し、歩き初めなどのセレモニー実施の計画はあるか。町民に広く周知するためにセレモニーの実施はあってもよいと思うがどうか。

次、質問の3. 子供たちの登下校の安全策を問う。（1）先月、新潟県の小学生を電車線路へ遺棄するというむごい事件があった。学校という安全な場所から離れた後の子供たちの登下校の行動は保護者にとって大いに気になるところであり、町行政はどのような安全策を講じることができるか。（2）本町学校現場における防犯システム導入に向けての取り組みはどのような状況か。（3）ICタグで児童の登下校状況を記録し、保護者に通知する学校防犯システムがあるが、町行政は子供の安心、安全を守る観点からこのような防犯システムにどのような認識を持っているか。（4）近隣自治体の学校防犯システムの導入状況を問う。他の自治体の導入状況と比較して本町の取り組み状況はどうか。（5）児童たちが犯罪に巻き込まれることを防ぎ、保護者の安心につながられるような防犯システムを導入できるよう学校現場へ働きかけができないか。

質問の4. 徒歩登校推進の状況は。（1）翔南小学校通学路の交通安全対策について本年3月の第1回定例会で質問をした。そのときの答弁に、交通安全指導や徒歩登校を推進して対応するとあった。その後、子供の徒歩登校状況はどのように変化したか。（2）保護者による学校内へ乗り入れる車への自粛要請も必要であるがどうかと質問した。どのように対応したか。車両の校内乗り入れなどは減少したか。以上、質問します。よろしくお願ひします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目のちむぐくる館の健康運動器具の整備状況を問う。（1）、（2）、（3）については関連しますので一括してお答えします。運動器具については、本年度で修繕費の予算確保をしておりますので、その時期については今業者と調整中であります。

質問事項2点目の黄金森公園内の遊歩道の整備状況。（1）についてお答えします。遊歩道の供用開始は8月からを予定しております。（2）についてお答えします。遊歩道の出入りに進入禁止の看板と自転車、バイク等の進入防止策を設置して対処してまいります。（3）についてお答えします。個々の施設供用に合わせたセレモニーを行う計画はありません。以上です。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項の大きい3番目でございます。子供たちの登下校の安全策を問うです。まず（1）でございます。小学校の新入学児に対して防犯ブザーやホイッスルを配付して登下校時の安全対策を講じております。また各字老人クラブにより、子供たちの登下校時の安全を守る地域見守りパトロールをしていただいております。（2）です。現在、4幼稚園、南風原小学校、北丘小学校、南風原中学校に防犯カメラの設置を行っております。（3）です。県PTA連絡協議会も推奨しておりますので、システムとして一定の効果があると考えております。しかし、個人情報取り扱いを危惧する声もあるのも事実でございます。（4）です。近隣市町村の状況ですが、豊見城市で1校、浦添市で4校が導入されております。本町では現在のところ導入はされてございません。（5）です。ICタグ等を利用した防犯システムについて、去る2月の校長・教頭連絡会において説明を行いました。

続きまして、大きな質問の4点目、徒歩登校推進の状況です。まず（1）です。学校において入学式パンフレットや学校だより、校長講話を通じて徒歩登校等を推進したとこ

6月18日(第2号)一般質問

ろ、幼稚園児を含めて徒歩登校者がふえているとの報告を受けております。(2)です。翔南小学校では校内乗り入れ自粛について5月27日の学校公開日における学校説明会やPTAの集会において説明を行い、乗り入れが減少しているとの報告を受けております。以上です。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 答弁ありがとうございます。それでは再質問をさせてください。

1番目のちむぐくる館の健康運動器具の整備状況を問うですけれども、答弁は

(1)、(2)、(3)も一括しての答弁でした。本年度の修繕が可能と理解しますが、それでよろしいですか。

○議長 宮城清政君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん それでは答弁いたします。(2)に質問されているベルトトレーナーのベルトに関しては今年度で予算を計上しております。既に先週でベルト交換を済ませております。そのほかに関しては予算と調整をしながら修理できる部分から修理をしてまいりたいと考えております。その予算で全部修理が必要などころができるかどうかは、またこれから確認をして、検討していきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございます。一番ベルトトレーナーが気になっているところでした。もう交換されているということですのでありがとうございます。

前回の質問では運動器具の点検はどのように行われているかも質問しましたが、それに対するそのときの答弁は、運動器具販売業者が2ないし3カ月に1回見守り点検をするということでした。昨年12月の私の質問から6カ月が経過しました。そのように見守り点検が行われているか疑問であります。業者の運動器具の点検は行われているのかお答えください。

○議長 宮城清政君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 業者の点検に関しては、二、三カ月に1回、業者のサービスの範囲内ということを実施されております。ただ、正式なしっかりとした整備点検となりますと予算が発生するということですのでございました。そこら辺はまた財政とも調整しながら検討してまいりたいと思っております。チェックリストの中身に関しては、業者がちゃんと点検する部分と職員で点検できる部分を業者と調整をして、業者は頻繁にはできないということでしたので、職員でカバーできるところは職員で点検するチェックシートとかを業者と中身を調整しているところでございます。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございます。その他の健康器具にも目を配り、早目の整備点検で危険を防止することは健康器具の安全使用の観点からもとても大事なことだと考えます。是非早期の対応策をとっていただきたいと思います。答弁でもありましたように、その対応に向かっているということですので。ところで私は前回の定例会の一般質問のときに整備点検表の作成を提案しましたが、ただいまの答弁でありましたように、今度検討していくということの答弁でした。点検表はいまだに作成されていないわけですが、やはり健康運動器具を安全に使用するために整備点検表の作成は必要だと思います。是非作成を実行されてください。以上でこの質問を終わります。

次に黄金森公園内の遊歩道の整備状況はどうなっているかについてです。黄金森公園整備事業の木の部分、木橋があるんですが、木橋部分を含む遊歩道工事の進捗状況について問う町民の供用開始はいつかということでしたけれども、私の質問の意図は進捗状況も重ねて聞いたかったんですが、答弁の中で述べられていますのでそれはよしとしましょう。黄金森公園の遊歩道について質問するに先立ち、私はきのう雨模様ではあったんですが、黄金森公園の遊歩道を散策してみました。木の橋部分はまだ通ることはできませんが、そこ以外は通れそうです。文化センター裏から上っていき、頂上の仏の前と書いて、フトゥキヌメーと読むらしいんですけど、そのフトゥキヌメーの拝所を通っていく帯伝いはとてもよい散策コースだと私は思いました。町民に散策の楽しさを広めたい場所です。けれど頂上付近から陸上競技場側におりてくる階段の一部がありますが、その階段の足かけ部分に砂利が敷かれています。歩行安全上、気になるところがありました。またそこは土や砂利敷きのため雑草も繁茂しています。意地管理のやりやすさを考えますと石材の階段にしてはどうかと私は思いますが、いずれにせよ調査していただきたいと思います。

○議長 宮城清政君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城政光君 お答えします。現場をチェックして対応していきま

す。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 まずチェックをお願いします。黄金森の西側に設置されている木の橋部分について、その橋桁の高さ、橋幅、距離、長さですね、陸上競技場のほうから中に入っていく、その先までの長さ、それから木の橋の耐久性、5年もつのか10年もつのか20年もつのか、その耐久性、そして維持管理は今後どのようにされるのか。それをお答えください。

○議長 宮城清政君 都市整備課長。

○都市整備課長 稲福 正君 ただいまの質問にお答えします。距離については、木橋の部分が92メートルとなっています。幅として手すりの内法が2メートルとなっております。耐久性についてですが、今回の木材の材料を使ったメーカーのほうで防虫、防蟻の処理をしているということで10年の保証をつけております。そういうことから10年は向こうで保証して、その時点で問題があれば取りかえるということになっております。また、高さのほうですが、一番高いところで6.5メートルとなっております。以上、お答えいたします。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 維持管理はどうされるんですか。

○議長 宮城清政君 都市整備課長。

○都市整備課長 稲福 正君 どうも済みませんでした。維持管理についてはすぐやる班と日常の目視と、またある程度経過した後はダウン調査といいますか、専門家による調査を委託しながら維持管理をしていきたいと考えています。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 橋の構造を見てみますと、橋桁の高さが高いところで6.5メートル、あれはそう高くないところでも3メートルはありますよね。その構造体をイメージしまして、ちょっと難しい質問になると思うんですけども、車椅子での遊歩道、遊歩道というのは木の橋の遊歩道ですね。散策を望んでいる町民もおられると思うんです。それに対して十分な安全対策を施し、車椅子利用でも可能なようにできないかということが私の質問ですけども、どうでしょうか。

○議長 宮城清政君 都市整備課長。

○都市整備課長 稲福 正君 車椅子のほうも大丈夫ということで、こちらのほうとしては認識しています。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 車椅子という、普通じゃない移動車ですので、十分に対策もとっていただきたいと思います。それから次の質問に行きます。

黄金森を一周する遊歩道の完成を記念し、歩き始めなどのセレモニーの実施の云々についてですが、答弁ではセレモニー実施計画はないということでした。私は町民に広く知らしめるためにセレモニーの実施はあってもよいと考えるものです。黄金森は南風原町民にとって特別な意味を持っている森や丘だと私は思っています。南風原中学校の校歌に「黄金の森の色映えて みどりの丘は はてしてなく 清く自然に いだかれて」と自然のよさを歌っていますが、その次に「平和の鐘は 高なりぬ」と続きます。73年前の大戦中に多くの命がこの黄金森とかかわりを持ちました。そのみたまが平和の鐘で癒やされている場所だと私は思うのです。黄金森は南風原町地域の門中墓も集中しています。私のさっきの木の橋の隣は私の門中墓です。その隣が議長の門中墓です。そのような黄金森を一周する遊歩道ができました。黄金森に宿る精霊への鎮魂の意味も含めて歩き始めというセレモニーの形をとってはどうかとの私の質問の意図です。ただ単に黄金森の遊歩道を町民に知らしめるだけのセレモニーにとどまらず、黄金森に宿る精霊たちに鎮魂の気持ちを注ぐということで、是非とも歩き始めのセレモニーをしていただきたいと思いますが、いかがですか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 神里操也君 お答えします。今後、遊歩道につきましては、まだ説明板、あと公園の遊歩道をコースとかそういったものに、サインとか説明板がございますので、そこら辺をあわせて設置をしていきたいということをございまして、あと供用開始に向けた告知の看板等、町のホームページ、広報紙とかで周知を図りたいということでありまして。あとそういったことでまだセレモニーということをございせんけれども、今のところそこを計画する予定がないということでありまして。以上です。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

6月18日(第2号)一般質問

○3番 大城 勝君 セレモニーをやるには金もかかりますから、金と心はどちらが大事かということも考えていただきたいと思います。ところで、この一周遊歩道ができて、町民の黄金森に対する愛着度がより増すと私は思います。遊歩道に沿って緑の木々の中を散歩しながら、町民、子供たちの平和教育の場にも大いに活用できると思います。私は黄金森公園内の遊歩道の整備はその延長上に平和教育の場があるとの結論づけですが、町長はこの黄金森を町行政の中でどのような位置づけで捉えておられるのか、その思いをお聞かせくださいませんか。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 赤嶺正之君 答えいたします。ただいま大城 勝議員がご質問なされたように、趣旨といたしましては、私も大いに賛成をするものでございます。やはり黄金森は多くの、さきの大戦で犠牲になった方々を慰霊する場でもございますし、南風原町の平和教育の発信地ということも、これまでもずっと内外に発信をしてきているわけでございますので、趣旨的には議員ご質問のとおりだというのは私も同じ考えでございます。ただ町として、こういったセレモニー、公園のオープニングを記念してのセレモニーというものはちょっとかけ離れていくとは思いますが、実際にこれを実施するとなった場合は、町というより、むしろ実行委員の形をとって、いろんな関係団体の皆様が集まって、そういったふうな公園の遊歩道の、園路の完成のセレモニーというよりは、南風原町みんなが平和を願って、この南風原町の平和教育の発信地である黄金森をこれからも大事にしているんだというような趣旨でもって、有志の皆さんが集まってそういったセレモニーをやるということであれば町も積極的に参加をしてまいりたいと考えております。以上です。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。是非セレモニーが行われるような流れになってくれればよいなと思っております。

それでは次の3番目の質問に行きます。子供たちの登下校の安全策を問うのですが、行政が学校、保護者と連携しまして子供を危険な場面から守るための体制がとれていると考えます。町内にはどのような組織団体があるかですが、老人会の見守り隊のパトロールもその1つだということが答弁にありました。社会が子供を守っているんだという意識高揚を狙って道行く車の側面などに子供の見守り隊のステッカーなどを貼るのもいいと私は考えます。犯罪者に町民の関心の目があることを気づかせ、子供たちには大人がちゃんと守っているんだとの安心感を持たせる効果にもなるステッカーだと思うんですが、町民にもっと普及するよう取り組む考えがないかどうかお聞きします。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 答えします。この地域で子供を見守るという形のシステムについては、こちらのほうもこれからどんどん取り入れるべきだというふうに思っています。ちょっとどういった形で、どこまでその辺ができていくか確認が今、車とかにはステッカーがはられているのか、ちょっと見た覚えがあったんですけども、その辺の所在がはっきりしませんので、その辺については再度確認させていただきたいと思います。それからおっしゃっているように、見守り隊の学校を含めて社会と、それからPTA、地域が子供たちを見守るという制度について、これからは我々としては推進したいと考えていますので、その辺については再度こちらのほうで確認させていただきたいと思います。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。次は学校現場における防犯システム導入に向けての取り組みはどのような状況かに対してですが、答弁では南星中学校などは設置されていないんですね。何か理由があるんでしょうか。

○議長 宮城清政君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 導入に関しましては、改築の事業であるとか、それを一緒に、その改築の事業で導入したという経緯がありますので、南星中学校にはその事業がなかったということで、また特別に防犯カメラのみを導入するという計画自体もなかったということです。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 防犯カメラというのは一式幾らぐらいするんでしょうか。そんなに事業体をおこしてやるようなことかな。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 防犯カメラについては、カメラ単体で導入する。それからメモリの管理の部分を導入するという形でも、その金額については変わるとは思います。大体こちらのほうで、一般的に考えられている金額というのは大体四、五十万から80万円ぐらい

6月18日（第2号）一般質問

の単位で防犯カメラは設置されているものだと考えられています。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 やはり防犯カメラの効果というのは、私は抑止効果も期待できませんし大事だと思うんです。その辺を考慮して是非早目に入れられるようなシステムをつくってほしいと思います。ところで学校内パトロールというのはどのようになされているのか。校長先生が授業中に見回るといふということもあると思いますが、校内パトロールは学校応援隊などの地域ボランティアの皆さんは学校の雰囲気になじんでおられます。その人たちによる学校内への防犯パトロールがあってもよいと考えますが、地域で子供たちを守っているんだとの認識を子供たちだけではなく地域住民も持てると思いますか、いかがでしょうか。

○議長 宮城清政君 学校教育課長。

○学校教育課長 野原 学君 学校応援隊はえざるについては、授業のサポートであるというふうに捉えております。あとそのほか2地域を含めたパトロールができるかというのは、今後調べて検討していきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございます。是非そうしてほしいと思います。それから次の質問ですけれども、ICタグで児童の登下校状況を記録し、保護者に通知する学校防犯システムがあります。児童がいつ登下校したか、学校や保護者が把握できる防犯システムは「ツイタもん」、門についたということで「ツイタもん」というんでしょうけれども、コマーシャルネームがありますが、そのことであります。保護者の安心、子供の安全の助けとなり得ると私は思います。答弁ではありましたが、もちろんそのシステムの採用の可否は保護者に任せていいわけですから、それはそれでいいと思いますが、学校側のほうも、私はそのツイタもんのタグを所持しているということで、子供たちへの防犯に抑止効果が期待できると思います。犯罪の抑止効果に期待が持てるという私の考え方はいかがでしょうか。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 ご指摘、ご提案のように一定の効果はあるものと我々のほうも認識しております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 ツイタもんの導入に当たっては、導入実績のある学校現場を調査研究してやってほしいと思いますが、答弁にもありましたように一定の効果は理解しておられるということですので、それでも私はよいと思います。町民の安心、安全を守る、特に弱者である子供の居場所づくりを考えると、ツイタもんのような防犯システムは必要であると私は考えております。以上でこの質問は終わります。

次の質問、徒歩登校推進の状況はですが、登下校時における保護者車両の進入禁止についての文書を学校側は保護者に配布しています。それにより学校現場は児童の安全確保を最優先に考え、登下校時の徒歩通学を推進していることが伺えます。毎朝、交差点で子供たちの交通安全指導を行っているものにとっては、子供たちが元気に横断歩道を通り抜けていく徒歩登校には関心のあるところでもあります。学校側の保護者への徒歩登校への協力依頼通達もうまくいっていると聞いております。交差点で出会う子供たちの数も以前よりは確かに多くなっている気もします。私は平成29年の第1回定例会でも徒歩登校推進について触れました。そのとき徒歩登校の意義は、1つ子供たちの集中力が身につく、2つ目、地域との交流ができる、3つ目、体力の向上につながるという答弁内容でした。私は交差点で大きな声で朝の挨拶、おはようございますと交わすように心がけています。挨拶のできる子を育てるのも徒歩登校の意義の1つではないかと、毎朝交差点に立って感じます。そこで新教育長に、子供たちの徒歩登校についての思いがございましたらお聞きしたいと思っております。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 確かに私たちの時代は、私、与那覇でございまして、あるところに時間で集まって、1年生から6年生まで、6年生がしっかりと2列に並ばせて登校してまいりました。今はそういったことで地域の同級生も余りわからない。クラスの人としか遊ばないとか、そういったこともありますので、本来は地域でまとまっていくというのは防犯にも役立つし、地域としてのコミュニケーションを図るということでもいいのかもしれないです。ただ、やっぱり保護者の皆さんの仕事のいろんな形態とか、そういったものもありますので、これをルール化するというのは難しいんですが、やはり健康のためには交通安全とか、そういった防犯の安全も講じながら、できるだけ歩いていただくというの

6月18日（第2号）一般質問

が理想かなと私は思います。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。ここに挨拶の言葉も出てくればよかったですけれども、これで私の一般質問は全て終わりますが、この4年間の議員期間で私は16回の定例会での質問をしたこととなります。町執行部の皆様には誠意あるご答弁をいただき感謝申し上げます。また、同僚議員の皆様には新人議員としましては大変参考になり勉強になりました。ありがとうございます。以上です。